

# 飛翔

発行責任者  
平塚MAC  
今込祐弘



一人の会員の体験寄稿

## ふる里への支援と

### 高齢者施設でのボランテニア活動

#### 六年間のふる里への支援が評価され

伊藤孔三さんは生まれ育った故郷を懐かしむと共に、高齢化したふる里を支援すべく、これまでいろいろな活動を続けて来られました。その活動は、地元市政への提言や地元紙への投稿、更には公民館への寄贈など多岐にわたっています。昨年は老人クラブへの寄付が、本文にあるような驚きの結果となりました。

きっかけは、平成二十六年九月から施行されたふる里創生政策に基づき

「俺を産んで育ててくれた故郷よ、高齢化し昔の面影ないね、そこを少しでも助けるのが今の俺たちの出番だ」この一念を胸に秘め、平成二十七年に地元の秋田県大仙市の市長へ「地域創生計画書(案)」を提案した。それを



薬師神社の拝殿へ飾られた注連縄

する機会を得て、今も秘書課の主査を中心に何かと打ち合わせしています。

次は平成二十九年に「ふる里創生はみんなの底力で」を秋田魁新聞の投稿欄で呼びかけると「読んだよ」と朝から電話があり盛りあがった。更には、地元公民館へ「囲碁ボールセット」に

「五体には調べ整う囲碁ボール みんなで競い百歳ゴール」の一首添え寄贈すると、広報で紹介され知人達



金箔で大書された奉納板

からも喜ばれました。

昨年は出生地の老人クラブへ寸志を届けると、礼状と神秘的な写真と銘酒が届いたのです。その写真には、

千余年の歴史ある薬師神社の拝殿へ飾られた注連縄の奉納者として、小生の名前住所が金箔で大書された奉納板が写っていました。仰天止まらず鼓動は高どまりしておりました。これまでの六年間のふる里創生政策に基づき、支援し続けてきた実績が評価されたものと大変嬉しく思っています次第です。

伊藤孔三 記

#### ボランテニア活動が

#### 体と頭の健康に繋がる

江藤史雄さんは高齢者施設で高齢者を相手にオセロ、麻雀、将棋、囲碁のお相手のボランテニア活動をしています。今では高齢者施設の人達から江藤さんが来るのを楽しみにされています。

私は市の広報紙で見たボランテニア活動希望者を募る説明会に参加し、様々な活動の中で自分ができる活動を二〇一六年十月から始めました。

先ずは通院中の病院でデイサービス通所者とのオセロゲーム対局者募集を知り応募しました。他のデイサービスでも麻雀や将棋、また習い



始めたばかりの囲碁の相手も行なっています。

自分より高齢の方々(男女)を相手に和気あいあい

うにしました。ちなみに囲碁のお相手は九十歳を超え

途中病気で入院されたり、

#### 当面のスケジュール

8月6日(金)	囲碁を楽しむ会
8月13日(金)	囲碁を楽しむ会
8月20日(金)	囲碁を楽しむ会
8月23日(月)	パークゴルフの会
8月27日(金)	囲碁を楽しむ会

お亡くなりになった方もおりましたが、ご家族からお礼の言葉をいただき、少しでもお役に立てたかなと思えました。

私にとってこの活動は、訪問時は自宅と施設を歩いて往復するなど、頭と体の健康に役立っていると思っています。

現在はコロナ禍で活動を休止していますが、再活動できる日が早く来ればと願っています。

江藤史雄 記

#### 会員往来

村松一男さんが六月に退会されました。

#### 次号の発行日

次号は八月十九日(木)です。